



みなさん、こんにちは



雪が多かったですね！そして寒さも厳しかったです。ちょうど、12月の議会レポートをお届けした時には根雪になっていました。あれから、ずいぶん降りました。

町の中にはたくさんの雪が積み上げられ、排雪作業が追いつかず苦勞された方も多かったと思います。

3月上旬の猛吹雪では、道路の通行止め、停電もあり、近隣町村では吹雪の中、なくなられた方もいらっしやいました。痛ましいことです。

地震や津波ばかりではなく、こうした吹雪や嵐も大変な災害になることを思い知らされました。お天気の変化や、道路の情報などをしっかりと確認して行動することが必要です。

3月議会は来年度の予算を審議する議会でもあります。

3月6日から3月18日まで、どんなことが決まり、
どんなことを始めるのか、
どんな議論があったのか、
みなさんに、私から お知らせします。



文中の誤字脱字については、お許しください。
あらかじめごめんなさい。

今年は各地で桜がとても早く咲きました。知床は雪が多いですが、福寿草の花はいつ頃になるでしょうか。楽しみです。

第一回・斜里町議会臨時議会

2月13日 に開催されました。

* 除雪費用が足りなくなって予算を追加しました。



除雪を行う作業車両も故障したり、古くなっていたり、費用がかかります。昨年も、異常気象による災害被害が多かったと思います。

今回は、ウトロの道路で小さな雪崩のような状況になり車が埋まったり、通行止めになっています。なので、ウトロの除雪費用はさらに3月議会でも追加になりました。今年のウトロの雪はさらに多いです。人的な被害が無くて幸いでしたが、道路の維持管理は大変な作業です。

* 灯油やガソリン代がとて高くなりました。そこで、福祉灯油を今年は実施。

平成19年、20年にも実施された事業です。斜里町内の対象の方は900名前後です。もうすでに実施期間は終了しましたが、灯油の価格が高騰した分を補助する制度です。

それにしても、今回は特に高くなっていますね。景気は良くなる・・・と言う声が聞こえてきますが、さっぱり実感はありません。節約を心がけていますが、気持ち暗くなります。

* 町からの気象情報や道路情報、防災、防犯メールはとて役に立ちます！

みなさん、携帯を持っていたら登録した方が良いですよ！まだの人はぜひ！

今回の暴風雪のときにはとて役に立ちました。

携帯を持っていない人にはその情報を伝えてあげてほしいです。

登録できない人は役場に聞くか、知っている人にやってもらって！



今回の議会で、疑問に思ったり ?? と思ったことです。

議会では、一般質問以外は何でも質問できる訳ではありません。

予算に関する事柄の質問が基本です。でも、3月の予算審議では全般的な総括質疑ができます。

* 国保病院のお医者さん・・・どうなるのだろう？

昨年から勤務されていた先生が辞められて、現在は内科には常勤医が一名と、臨時雇用の先生になりました。臨時の医師に継続をお願いしていますが、流動的だということです。

私は、辞められた医師がなぜ、辞められるのか、それが、次の先生を捜す参考になるのではないかと、そして村田町長のときに、よく言われていた町（町長）とのコミュニケーションが必要という点で、現在の馬場町長はどう動いているのか伺いました。

どうして続けてお二人とも、辞められたのでしょうか。

そして、町と病院と町民をつなぐ「地域医療協議会」（解散）などの組織が必要ではないかと言うことを聞きました。が、病院ボランティアを設置して役割を担いたいとのこと。ちょっと、視点が違うかもしれないと、思いました。

町の病院、私
たちも一緒に
考えなくては
なりません。



* 昨年、介護保険料がとて高くなりました。が、その介護保険事業計にはない事業が計画されています。なぜ？その施設が必要なの？

そして計画に無いのにどうするつもりなの？

特養（特別養護老人施設）が20床、現在の施設とは別の建物で作られることになりました。（前回のレポートでもお知らせ）町にとって必要な施設の事業開設を事業者をお願いして建設することになりました。私も20床の増設は必要だと思っています。

でも、その新しい建物に、地域密着型小規模多機能介護施設（通い、泊まり、訪問サービス）を併設することに。でも、斜里町の昨年作られた計画（3カ年計画）には含まれていません。町は計画を見直すこと、あるいは新しい計画に盛り込むことなど、どの方法がいいのか検討するそうですが、

- ・もしかすると介護保険料はもっと高くなるかもしれないこと、
- ・併設する施設サービス提供の、斜里町内での需要と供給のバランスは大丈夫だろうか？
- ・こうした計画を介護保険運営協議会や、事業所の連絡会議などに知らされていなかったこと
- ・人手不足が大きな問題なのに、現在の施設に増床のほうが良いのではないの？
- ・現在の特養の雇用環境と施設環境の現状と改善点

などで不安に思い質問しました。

* 町長のまちづくりの基本となる幸福度調査にも関係するアンケートなのに？

2年目をむかえる馬場町長の町政です。「幸せ実感、あったか斜里町」のまちづくりが公約。

その中で、幸福度を一つの指標とする調査を行うとしていました。

今回、第6次総合計画の策定とリンクして町民に対しアンケートを実施しました。（質問したときにはもう、アンケートは配布されていました）でも、それが1500件のサンプル調査だったことを、残念に思いました。もっと、町長のまちづくりに対する思いや考えを伝えて、町の人が一緒に考えられるような仕組みを使うべきだったと思うのです。

確かに、サンプル調査で見えてくるものもあるでしょうが、町長の政策のメインとも言える取り組みです。ベースとなる町の人たちの声をできるだけ拾い上げて、そこから見える町の人たちの斜里での生活に対する幸せ感を拾ってほしいなと思いました。

きっと、町の人たちも聞いてほしい、話したいと思います。

いろいろな価値観があるはずですが、でも、きっと斜里に住んでいるからこそ感じるものだってあるはず。





3月議会の一般質問 趣旨と考えです。

1・小学校の統廃合がすすんでいます。安心、安全な通学環境はスクールバスの運行で。

現在、児童生徒はスクールバスや、自家用車、路線バスなどで通学しています。それぞれの通学手段にはもちろん、町から補助は出ていますが、たとえば小学生が路線バスを利用することも少し心配があります。また、保護者が送迎すると言う環境も、決して良いことではないのではないだろうか？と思います。町の財政的な問題や運行の難しさはあるでしょうが、できるだけスクールバスの運行を積極的に検討してほしいと思います。



2・移住定住者促進は人口減少抑止と活性化にプラスになるはず

町長ご自身の考えの中では、移住定住を促進するよりも、町の人口が外へ出て行かないための政策を考えていると回答されました。ちょっと、がっかりです。私は、もっと交流人口を増やして行くことが、結果的に地域の産業や事業の活性化につながると思っています。(きっかけやチャンスとしても) 様々な政策を国も打ち出しています。仕事を確保することが難しいなどマイナスの課題はありますが、でも、斜里町に住みたいという人はいます。

たとえばウトロの雇用促進住宅を一部、定住促進住宅とするなど、地域おこし協力隊などの導入、域学連携などももう少し積極的に取り組むことが必要ではないかと思います。流れや、動き、発信は様々なつながりを生むはずで、消極的姿勢は全体の地域活性にもマイナスではないかな？と思いました。

3・なかなか実感できない幸福度調査の意義は？

このことは、前のページでも書きましたが、私は町長のこうした姿勢は賛成ですし、良いことだと思っています。が、さっぱり見えてこないのです。もっと、発信すれば良いのにと、思います。

町長ご自身も幸福って？どうあれば幸せだと思えるのか、思ったことをどう町政にまちづくりに反映できるのか、勉強中であり時間がかかることだとおっしゃっていますが、私はその勉強の過程、悩んでいるプロセスを町民と共に考えるために、会話、やり取り、発信をすべきだと思います。まちづくりは町長が一人でできるものではないと言っていますが、その一つが、今回のアンケートだと思ったのですが、サンプル調査で見えてくるものは何なのでしょう？



住みたい人、斜里に住みたいから仕事を探す人、斜里で働きたい人、暮らしてみたい人、きっといますよ。そんな人たちのためにできること。

ゴミ処理施設と病院のボイラーのこと

水分量が多くてなかなか堆肥化できない生ゴミの対策は・・施設を造った業者さんと話をし、湿度を調整するファンをつけること、脱臭機など対策に取り組むこと。

一般ゴミの分別に「燃えないゴミ」を加えることに。10月から実施する予定です。

今まで、埋めていたために、金属やガラスなども一般ゴミに含まれていましたが、処理できず機械の破損にもなるので分別することに。

国保病院のボイラーは試運転実施で、最初の頃は黒い煙や大量の水蒸気が出ていましたが、運転調節を行い、調整して来た結果、臭気も煙もなくなってきたとのこと。4月からは順調な運転になるようさらに調整を行って行きたいとのこと。

新しい施設の稼働には調整が必要です。

それにしても、あの場所しかなかったのだろうか？と

やはり、みなさんが思うように私も思いました。

斜里町の町全体の施設レイアウトが、よくわかりません。



どうしようか迷っていたものがありました。今度はわかりやすくなるでしょうか。勉強しなきゃなりませんね

新年度予算で決まったこと、思ったこと・一部ですが



* 戸籍のデジタル化（電算化）

これから斜里町の戸籍をすべてデジタル（電算化）に切り替えるための予算は、25年度は2000万円で、これから何年間か作業が続きます。利用する側の利点は見やすくなることくらい？でも、行政事務上では、必要な作業だと思います。今までは和紙に手書きやタイプライターでしたね。おもむきははなくなりますが、保存などを考えると時代の流れです。

* 1%まちづくり支援事業

25年度、新規事業は受け付けず、これまでの継続事業が対象です。止めるべきではないという意見も多かったのですが、私は一度、事業を見直すことには賛成です。そもそも、まちづくりという言葉と、このまちづくりに町が支援する意義と認識がバラバラだったような気がします。イベント的なものに対しての支援が多いのは、つねに公共性を求めるためです。でも、公共性を主体にするなら町がやればいい話です。地域づくりやまちづくりを、もう一度共に考えて行かなければならないと思います。

* 防災とか防災情報の整備・訓練などは何もやらない・感じがします

防災計画の作り直しは、おおかたを専門業者に委託です。防災訓練や、対策本部を置いての庁舎内の訓練、机上で確認できる訓練取り組みは何も計画されていません。今回だって暴風雪など情報の発信や、帰宅不能と通行止め状況など、課題はたくさん。町が企画する訓練などの必要性はないのでしょうか？また、昨年設置のフリーWi-Fiスポットの増設もなし。これでいいのだろうか？と思いました。残念！

* 図書館の設計が進んでいます

気になったのは、敷地へのアプローチです。もう少し、協議を重ねて、使いやすいように考えるべきです。予定面積が限られているために、せっかく作るのに・・という残念な部分も生じています。なんとか知恵を絞って設計になりますように。面積は1500㎡前後になっていました。

* 観光基本計画は

今後、策定される観光振興計画の中で具体的なものを示して行くということ。そして、一番メインになっているのが「斜里町観光事業の中核機能を有する組織の育成と支援を進めます。」という部分。町がここまで計画の中に組織の育成と支援を組み込んでいることについて、大丈夫なのだろうか？という思いを持っています。自治体はたず観光の役割とは何でしょう。計画は6月頃完成予定です。

* 知床自然大学院大学の動きに対して町は？

大学が必要なのか？の議論よりも町がどのように対応するのか？という質問が多くありましたが、私は現時点での町の対応はこれしかできないと思います。知床の自然や環境を活かしていく方法は大学でなくてもいいのではないかと思います。26年前の町の総合計画にある事業だと言うことですが、時代も変化しています。



* ここでお知らせできることの他にたくさんいろいろなことがあります。どんなことでもけっこうですので、お電話などいただければと思います。また、こうしたお便りを読みたい方がいらっしゃいましたら、送りますから、そちらもお気軽にどうぞ！



ツイッターやフェイスブックをやっています。興味のある方は、是非、参加してみてください。いろんな考え方があって楽しいですよ。*メールを送って戴くときにはお名前、連絡先を書いてください。お願いします。

いろいろな形で議会も私も情報発信しています。みなさん、見てください、聞いてください！



議会がなにをやっているのか分からないと言われられないように！

議会の議事録は

ホームページで読めますよ！

録音しているものを、そのまま文章に起こしています。定例議会が終わってから次の議会の約2週間ほど前までにホームページに掲載されます。

- ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
 - ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
- 「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート
コメントを待っています。
メールは koe@akemichan.net へ